

世界最高峰基準アーティストの認定証を戴かれました。

国連加盟 60 周年記念特別企画

「世界最高峰基準アーティスト認定作家特集」美術の杜出版社

六麴屏風「龍光水月日龍」(2016年6月広島で揮毫)



小林 芙蓉 (Fuyoh Kobayashi)

“日本の書の再生を担う無双の神筆登場”

書は水の芸術である。改めて不動の定理に血を通わせる、
気脈が貫通した書線の生命、流動の美しさと厳肅さに、思わず
頭が垂れる。「龍光水月日龍」の放つ、胆力に、激情の筆技に、日本
の書が長く失ってきた大切な思念の粋を感じる人は多いはず。本作
は被爆 70 年の節目に、広島で入魂の平和への祈りを込めて、
小林芙蓉氏が揮毫した大作であり、内外でも大変な評判を呼んだ
玉品である。墨継ぎなしの一气呵成の筆力に満腔の敬意を寄す。

文/デミトリス・ミタラス